

相模原マンドリン倶楽部

第 32 回定期演奏会



2016年10月23日（日）14:00 開演

相模女子大学グリーンホール 大ホール

後援：相模原市・相模原市教育委員会

♪ 演奏曲目 ♪

第Ⅰ部

指揮：大矢 利夫

1. Around The World
作曲：V. ヤング
編曲：武藤 理恵
2. Let It Go
～The Piano Guys バージョン～
作曲：K. アンダーソン＝ロペス R. ロペス
編曲：A. V. D. ビーク J. シュミット
S. S. ネルソン
3. スタジオジブリ・アニメセレクション 作曲：久石 譲
編曲：喜多 満鳥
空から降ってきた少女 ～映画「天空の城ラピュタ」より～
旅路（夢中飛行） ～映画「風立ちぬ」より～
魔女の宅急便セレクション ～映画「魔女の宅急便」より～
4. 星空のコンチェルト 作曲：藤掛 廣幸

-----休憩 15 分-----

第Ⅱ部

客演指揮：新井 義輝

1. 組曲「北欧のスケッチ」
作曲：A. アマデイ
編曲：中野 二郎
2. 「四季」より
6月 舟歌
11月 トロイカ
作曲：P. I. チャイコフスキー
編曲：新井 義輝
3. 悲しきワルツ
作曲：J. シベリウス
編曲：新井 義輝
4. スウェーデン狂詩曲第1番
“夏至の徹夜祭”
作曲：H. E. アルヴェーン
編曲：新井 義輝

♪曲目紹介♪

Around The World 作曲：ヴィクター・ヤング (Victor Young ; 1899~1956)

ヤングは、アメリカの作曲家、編曲家、指揮者、ヴァイオリン奏者。パラマウント映画の音楽監督に就任したほか、『エデンの東』をはじめ多くの作品の音楽の編曲、指揮をしました。この曲は、映画『80日間世界一周』のテーマ曲で、旅行番組やCM等でも良く知られている主題の旋律が、変奏していきます。ジュール・ヴェルヌの同名小説を原作としたこの映画は、エキゾチックな国々が次々現れ、いかにも旅をする雰囲気伝わってきます。

Let It Go ~The Piano Guys バージョン~

**作曲：クリステン・アンダーソン＝ロペス (Kristen Anderson-Lopez; 19??~)、
ロバート・ロペス (Robert Lopez ; 1975~)**

ロペス夫妻は、アメリカの作曲家。ミュージカル『アベニューQ』『ブック・オブ・モルモン』などの作曲で知られています。「レット・イット・ゴー」は、ディズニーアニメ映画『アナと雪の女王』の主題歌で、アカデミー賞の歌曲賞を受賞しています。日本語及び各国語バージョンでも多数公開されています。この曲は、『The Piano Guys』という4人(ピアノ、チェロ、映像クリエイター、音楽プロデューサー)の異色クリエイターグループが、ヴィヴァルディ作曲『冬』とミックスし、アレンジしたバージョンとなっています。

スタジオジブリ・アニメセレクション 作曲：久石 譲 (1950~)

久石譲氏は、映画音楽を中心に手掛け、特に宮崎駿監督のジブリ作品においては、『風の谷のナウシカ』以来『風立ちぬ』に至る全ての長編アニメーション映画の音楽を手掛けています。

空から降ってきた少女 ~映画「天空の城ラピュタ」より~

『天空の城ラピュタ』の使用楽曲の中から、シータとパズーがラピュタにたどり着いた時に流れる曲、シータが空から落ちて来る場面を描いたオープニングで流れる曲から成ります。

旅路 (夢中飛行) ~映画「風立ちぬ」より~

『風立ちぬ』では、“旅路” 菜穂子 “のモチーフで、二郎の生活や内心の大きな変化、夢の場面で菜穂子に再会等テーマによるメロディがあり、その中からの旅路「夢中飛行」です。

魔女の宅急便セレクション ~映画「魔女の宅急便」より~

少女キキが人との出会いを通し、魔女として成長していく姿を描いた映画シーンの挿入曲の中からの「晴れた日に…」「旅立ち」「仕事はじめ」「海に見える街」です。

星空のコンチェルト

作曲：藤掛 廣幸 (1949~)

藤掛廣幸氏は、シンセサイザーを駆使した作曲や演奏会、TVや映画音楽を含め多方面で活躍し、又多数のマンドリン合奏用作品があります。この曲に関する作曲者記をご紹介します。

「夜空に輝く無数の星たちを見ていると様々なイメージが浮かび上がってきます。『アーベントムジーク』より作曲の依頼を受けたものの、一向に筆は進まず困っていましたが、『タベの音楽』という意味のドイツ語から連想を広げてマンドリンの繊細な音色と、きらめく星たちとの関連に思い至った時に、一気に楽想が沸き上がり増殖を始めました。『コンチェルト』というタイトルを選んだのは、『音』そのものの美しさを追究したいという思いに基づき、バロック音楽の『合奏協奏曲』を現代に蘇らせたい、という意図があったからです。」

組曲「北欧のスケッチ」 (Acquerelli Nordici suite)

作曲：アメデオ・アマデイ (Amedeo Amadei; 1866～1935)

アマデイは、イタリアの作曲家。生涯に管弦楽曲、吹奏楽曲、マンドリン合奏曲、あわせて約500曲を残しており、その内マンドリン合奏曲は90曲以上あり、代表作に、「プレクトラム讃歌」「海の組曲」があります。遥かなる未知の国へと、望郷の思いを託したこの曲は、3楽章からなる管弦楽組曲で生涯最後の作品とされ、作曲者の追悼演奏会で別れの曲として演奏されました。その模様を報じたマンドリン紙『イル・プレットロ』によると、作家であり医師でもあったC. ベルトラーモの同名の小説をモチーフに作曲されたとあります。

「四季」より (Les Saisons) 6月 舟歌 11月 トロイカ

作曲：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー (Pётр Ильич Чайковский; 1840～1893)

チャイコフスキーは、ロシアの作曲家。作品は多岐にわたりますが、特にバレエ音楽の『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』は、チャイコフスキーの三大バレエとして良く知られています。『四季』は、ロシアの一年の風物を各月ごとに12のピアノ曲で描写した作品集で、季節の性格を音に表しています。6月「舟歌」と11月「トロイカ」が有名です。

6月 舟歌 (Barcarolla) 夏の舟遊びの情景が繰り広げられます。物悲しい旋律が繰り返され、揺れる小舟から見上げた夏の星空への陶醉が、ロマンティックに歌われる名曲です。

11月 トロイカ (Course en Troika) 銀世界となった広大な雪原を駆け抜けるトロイカ(3頭立てのそり)の姿や、降る雪の姿を彷彿させ鈴の音を交えた楽しい歌声を感じさせます。

悲しきワルツ (Valse triste) 作曲：ジャン・シベリウス (Jean Sibelius; 1865～1957)

シベリウスは、フィンランドの作曲家。青年期にはヴァイオリニストを目指しましたが、後に作曲に専念し作品も多岐に及びます。交響詩『フィンランディア』は、愛国心に溢れるとされ“フィンランド第二の国歌”とも言われ良く知られています。義兄が書いた戯曲『クオレマ(死)』の劇付随音楽として、全6曲を作曲し、その内の第1幕の曲をコンサートピース用に編曲し「悲しきワルツ」として出版され有名になりました。死が目前に迫っている婦人が、夢うつつにワルツの調べを聞き、幻の客といっしょに踊るとい情景のワルツです。

スウェーデン狂詩曲第1番“夏至の徹夜祭” (Midsommarvaka, Svensk rapsodi nr 1)

作曲：ヒューゴ・アルヴェーン (Hugo Emil Alfvén; 1872～1960)

アルヴェーンは、スウェーデンの作曲家、指揮者、ヴァイオリニスト及び画家。同年代のヴィルヘルム・ステーンハンマルと共に、スウェーデンの主要作曲家の一人として知られ、作風にはスウェーデンの風景を呼び覚まそうとする意欲が見出されます。スウェーデン狂詩曲は、第1番『夏至の徹夜祭』、第2番『ウプサラ狂詩曲』、第3番『ダラーナ狂詩曲』の3曲から成ります。第1番『夏至の徹夜祭』は良く知られ、アルヴェーンの全作品中でも最も知名度が高いです。主題のメロディは、スウェーデン民謡から採られているといわれ、流れるようなメロディと弾むようなリズムと合わせ、標題にふさわしい楽しい音楽です。

(参考資料として、ウィキペディア、久石譲オフィシャルウェブサイト、藤掛廣幸オフィシャルウェブサイト、中野二郎著「いる・ふれっとろ」、音楽乃友社「名曲解説ライブラリー」より引用させていただきました。)

♪ 客演指揮者紹介 ♪

新井義輝氏は、明治大学商学部及び東京音楽大学指揮科卒業。音大在学中から各地の市民オペラやオーケストラなど幅広い分野での指揮、指導にあたる一方、新国立劇場、日本オペラ協会などの団体でオペラ指揮者としての経験を積む。ミュージカルの分野でも劇団四季などの上演に携わる。2003年からは国内外で活躍するプロ音楽家で結成したプロ音楽集団「チェンバーミュージックハウス」を主宰。その他オペラ演出やマンドリン音楽の作曲・編曲も手掛けるなど、積極的に活動の幅を広げている。指揮を三石精一、久保田孝の各氏に師事。

♪ 活動レポート ♪

- 2015年 10月24日(土) 第31回定期演奏会 (相模女子大学グリーンホール 大ホール)
12月6日(日) 大野中公民館まつり (大野中公民館)
- 2016年 1月9日(土) 新年会
1月30日(土) 相模台公民館コンサート (相模台公民館)
5月15日(日) 第34回神奈川マンドリンフェスティバル参加 (青葉公会堂)
5月28日(土) 2016年度定期総会 (総合学習センター)
7月19日(火) 大野中ふれあい学級演奏会 (大野中公民館)
10月1日(土) 終日練習 (相模原教育会館)
10月16日(日) 終日練習 (相模女子大学グリーンホール リハーサル室)
10月23日(日) 第32回定期演奏会 (相模女子大学グリーンホール 大ホール)

♪ 練習風景 ♪



約60名の部員がおり、年齢層も広く、多様な職業に就いている忙しい人の集まりです。月3回の練習は、平均80%以上の高い参加率で、マンドリン音楽を楽しんでいます。夫婦参加の部員もおります。皆さんも仲間に入り演奏してみませんか。お待ちしております。写真は定演前の練習風景です。

♪ メンバーの紹介 ♪

Conductor 大矢 利夫 新井 義輝 (客演)

◎トップ ○サブトップ ☆賛助出演

| | | | | | |
|----------------|-------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 1st Mandolin | ◎窪田成子 桑田久美子 宮部美智子 | ○山崎了三 佐藤陽平 吉野昌重 | 藍澤桃子 中重亜由美 | 響庭裕子 舟田徳穂 | 石本友子 木田絹子 |
| 2nd Mandolin | ◎池田百合子 大沼和江 土橋規子 | ○川崎紘子 小貫カツ子 仁尾眞里 | 阿川陽子 京増万由美 福谷隆治 | 綾部文子 田嶋稔一 松本美千代 | 梅澤典子 戸田節子 吉岡直美 |
| Mandola | ◎寺田美千代 笛木和美 | ○小竹由美 三木善二 | 岡林誠士 峯田福代 | 小竹義範 三村乃之 | 末永浩二 宮下和子 |
| Mandolon-cello | ◎井上昌子 小澤健二郎 | ○藤田尚美 金澤葉子 | 飯田正男 鈴木すみ子 | 市川久美子 古田栄治 | 大矢利夫 宮本皓永 |
| Guitar | ◎吉田真紀子 小林 徹 宮本紀子 | ○原田 治 田中厚子 柳生秀人 | 赤羽 浩 玉井康治 和田真紀子 | 池上由子 中西茂樹 | 加登文子 新田美佐子 |
| Contrabass | ◎加藤規康 | ○鈴木保彦 | 錦戸雅子 | ☆佐藤文俊 | |
| Flute | ☆箕輪道子 | | | | |
| Percussion | ☆佐藤美貴子 | ☆星出朱音 | | | |

司会 ☆矢崎ひとみ
ステージ・マネージャー 田嶋稔一 ☆飯田貴大

部長 小澤健二郎
マネージャー 加藤規康 京増万由美 玉井康治 舟田徳穂
技術委員長 井上昌子
技術副委員長 中西茂樹

♪ 第33回 (2017年) 定期演奏会の予定 ♪

日時 2017年10月21日(土) 14時開演

場所 相模女子大学グリーンホール 大ホール

詳細はウェブサイト (<http://sagamiharamc.sakura.ne.jp/>) に掲載致します。

相模原マンドリン倶楽部

問い合わせ先 小澤健二郎